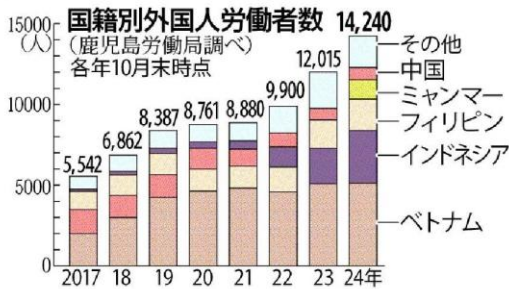


鹿児島労働局は31日、県内で働く外国人が2024年10月時点で1万4240人(前年比18・5%増)となり、07年に届け出が義務化されて以降、過去最多だったと発表した。雇用する事業所も前年から233増の2427カ所となり最多を更新した。同局は「人手不足解消のため、外国人材を活用する動きが広まった」と分析している。

在留資格別で最多の「技能実習」は2年連続で増加し、15・9%増の7261人。特定技能を含む「専門的・技術的分野の在留資格」は27・0%増の4359人だった。



産業別では、製造業が最も多い5481人で全体の38・5%。医療・福祉は前年から368人増えて1355人となり、初めて卸売業・小売業(1250人)を上回った。

国籍別では、ベトナムが最多の5124人(前年比0・6%増)で全体の36%を占めた。次いで49・2%増のインドネシアが3258人、11・1%増のフィリピンが1964人。ミャンマーが初めて中国を上回り、198人(前年比110・5%増)で4番手となった。同労働局は「外国人の受け入れ方を学ぶセミナーなどに参加する企業も増えている。外国人材の活用が定着してきている」と話した。

外国人労働者

24年10月 人手不足で活用拡大

県内最多1万4240人

むずかしい漢字とことば

前年比(ぜん・ねん・ひ)
増(ぞう)
届(とど)け出(で)
義務(ぎ・む)
過去(か・こ)
雇用(こ・よう)
更新(こう・しん) = 新しいものにかえること。かわること。
解消(かい・しょう)
分析(ぶん・せき) = ものごとを細かく分けて調べること。
在留資格(ざいりゅう・しかく) = 外国人が日本にいる間、できる活動などを定めた法的な資格。
技能実習(ぎ・のう・じつ・しゅう) = 途上国の外国人を日本に受け入れて、日本の技術や知識を伝える制度。
含(ふく)む
専門(せん・もん)
技術(ぎ・じゅつ)
製造(せい・ぞう)
医療(いりょう)
福祉(ふく・し)
卸売(おろし・うり)
国籍(こく・せき)
占(し)め
企業(き・ぎょう)

2025年2月1日付 1 面

【問 1】鹿児島労働局は県内で働く外国人が増えている理由をどのように分析していますか。

【問2】2024年の産業別で外国人の労働者が一番多い産業は何ですか。

【問3】2024年は国籍別でどこの国の労働者が一番多いですか。

【問4】2024年は県内で働く外国人は14240人でしたが、2017年は何人ですか。

【考えを書きましょう】この記事を読んで感じたこと、考えたことを自由に書きましょう。